

お客様用

---

EP8000 安全にお取り扱いいただくために

マニュアルはよく読み、保管してください。

- ・操作を行う前に、安全上の指示をよく読み、十分理解してください。
- ・このマニュアルはいつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

## 重要なお知らせ

- 本書の内容の一部、または全部を無断で転載したり、複写することは固くお断りします。
- 本書の内容について、改良のため予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたら、お問い合わせ先へご一報くださいますようお願いいたします。
- 本マニュアルに準じないで本製品を運用した結果については前項にかかるわらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## 規制・対策などについて

### □電波障害自主規制について

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

### □高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合について

EP8000 E980 装置は、全定格電力が 1 kW を超える専門家用機器なので本規格対象外です。

### □免責事項

- ・装置に納められたデータに対する損害又は損失については賠償責任の範囲から除外されます。
- ・装置又は装置の使用により付随的に発生したいかなる損害(逸失利益、その他の間接損害を含む)についても賠償責任の範囲から除外されます。
- ・第三者からの、又は第三者のためになすお客様からのいかなる請求についても賠償責任の範囲から除外されます。

### □輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。

なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

### ■発行

2018年12月 (初版)

〒259-1392

神奈川県秦野市堀山下1番地

株式会社 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部

電話 (0463)88-1311(大代表)

### ■商標類

- ・IBM、AIX、DataStage、HACMP、POWER、POWER7、POWER8、POWER9、PowerHA、SystemMirror は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の登録商標です。
- ・その他記載の会社名、製品名などは、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

### ■著作権

All Rights Reserved. Copyright (C) 2018, Hitachi, Ltd.

---

## はじめに

このマニュアルでは、EP8000 を安全にお取り扱いいただきるために、操作の前に必ずよくお読みのうえ、正しくお使いください。

また、いつでも参照できるように、手近な所に保管してください。



EP8000 ラック外観図

## ⚠ 安全にお取り扱いいただくために

安全に関する注意事項は、「危険」、「警告」、「注意」及び「通知」という見出しによって表示されます。



これは安全警告記号です。人への危害をひき起こす隠れた危険に注意を喚起するために用いられます。  
起こりうる傷害または死を回避するためにこのシンボルの後に続く安全に関するメッセージに従ってください。



危険:これは、死亡または重大な傷害をひき起す危険の存在を示すのに用いられます。



警告:これは、死亡または重大な傷害をひき起すおそれのある危険の存在を示すのに用いられます。



注意:これは、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害をひき起すおそれのある危険の存在を示すのに用いられます。

通知:これは、人身傷害とは関係のない損害をひき起すおそれのある場合に用いられます。

### ■安全に関する共通的な注意について

次に述べられている安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

- ・操作は、このマニュアル内の指示、手順にしたがって行ってください。
  - ・本製品やマニュアルに表示されている注意事項は必ず守ってください。
  - ・本製品に搭載または接続するオプションなど、ほかの製品に添付されているマニュアルも参照し、記載されている注意事項を必ず守ってください。
- これを怠ると、人身上の傷害やシステムを含む財産の損害を引き起こすことがあります。

### ■操作や動作は

マニュアルに記載されている以外の操作や動作は行わないでください。

本製品について何か問題がある場合は、EP8000 の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと（またはブレーカーを切断したあと）、保守員またはお買い求め先にご連絡ください。

### ■自分自身でもご注意を

本製品やマニュアルに表示されている注意事項は、十分検討されたものです。  
それでも、予測を超えた事態が起こることが考えられます。

## ⚠ 安全にお取り扱いいただくために（続き）

### 一般的な安全上の注意事項（危険の注記）

- 危険 保安用接地（アース）が異なる2つの表面を触れることから起こる感電事故を防ぐため、信号ケーブルの接続または切り離しは、できるだけ片手で行ってください。  
(D001)
- 危険 分岐回路に過負荷がかかると発火や感電の危険性が生じます。  
このような危険を避けるためシステムが必要とする電源容量が電源回路の安全容量を超えないことを確認して下さい。  
使用する装置の付属資料、または定格電源ラベルに記載されている電気仕様を参照してください。  
(D002)
- 危険 電源コンセントの枠組みが金属製の場合には、電圧および接地の点検を完了するまで金属部分には触れないで下さい。  
誤配線やアース不良があると、金属部分に危険な電圧が生じことがあります。  
点検の結果が記述内容と異なる場合には作業を中止してください。  
電圧やインピーダンスの条件が不適切な場合は、作業を進める前に訂正してください。  
(D003)
- 危険 正しく配線されていない電源コンセントにより、システムまたはシステムに接続している装置の金属部品に、危険な電圧が生じことがあります。  
感電を防止するため、電源コンセントの配線と接地については、お客様の責任で正しい配線を確保してください。  
(D004)
- 危険 システムあるいはシステムの周囲で作業する場合は、以下の安全上の順守をして下さい。  
電源ケーブルや電話線、通信ケーブルに流れている電圧および電流は危険です。  
感電を防ぐために次の事項を守ってください。  
・弊社から電源ケーブルが供給されている場合は、その電源ケーブルのみを使用して当装置を電源に接続します。  
・弊社から供給された電源ケーブルは、他の製品には使用しないで下さい。  
・電源ユニットは、開けたり保守したりしないで下さい。  
・雷雨の間はケーブルの接続や切り離し、または本製品の設置、保守、再構成を行わないで下さい。  
・製品が複数の電源ケーブルを装備している場合があります。  
危険な電圧をすべて除去するには、すべての電源ケーブルを切り離してください。  
・すべての電源ケーブルは正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。  
システムの定格プレートに従い、コンセントが正しい電圧と相回転を提供していることを確認してください。  
・この製品に接続する機器があれば正しく配線されたコンセントに接続してください。  
・信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。  
・火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないで下さい。  
・可能性があるすべての危険な状態が修正されるまでは、マシンの電源をオンにしないで下さい。  
(D005)

## ⚠ 安全にお取り扱いいただくために (続き)

- 危険 (D005) の続き
- ・電気的な危険が存在することを想定してください。  
サブシステムのインストール手順の実行時に指定したすべての継続性、設置、および電源チェックを実行し、マシンが安全要件を満たしていることを確認して下さい。
  - ・取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、装置のカバーを開く場合はその前に、必ず、接続されている電源ケーブル、通信システム、ネットワーク、およびモデムを切り離してください。
  - ・ご使用の製品または接続された装置の取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、次の手順の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。

### ケーブルの切り離し手順:

1. すべての電源を切ります (別の指示がない場合)。
2. 電源ケーブルをコンセントから取り外します。
3. 信号ケーブルをコネクターから取り外します。
4. すべてのケーブルを装置から取り外します。

### ケーブルの接続手順:

1. すべての電源を切ります (別の指示がない場合)。
2. すべてのケーブルを装置に接続します。
3. 信号ケーブルをコネクターに接続します。
4. 電源ケーブルをコンセントに接続します。
5. 装置の電源を入れます。

- ・システムの内部および周辺に鋭利な先端、角、およびジョイントが存在する可能性があります。  
装置を取り扱う場合は、手や指に怪我をしないよう注意してください。

- 危険 (D006)
- 重量のある装置の場合、取り扱いを誤ると身体傷害または設備の損傷を引き起こす可能性があります。

- 危険 (D008)
- 装置の輸送や移動、移設作業についてはすべて、保守員または、お買い求め先に依頼してください。
- システムを誤って取り扱ったり移動したりすると、重大な障害または死に至る場合があります。

- 危険 (D010)
- 荷物を積載したリフト・ツールが転倒したり、重い荷物がリフト・ツールから落下すると大怪我や死に至る可能性があります。リフト・ツールを使用して、対象物を持ち上げたり移動する前に、常にリフト・ツールのロード・プレートを完全に下げてから、荷物をリフト・ツール上にしっかりと固定してください。

## ⚠ 安全にお取り扱いいただくために (続き)

### 一般的な安全上の注意事項 (注意の注記)

注意 このバッテリーの交換は、トレーニングを受けた保守担当者だけが 実施してください。

(C002) バッテリーには、リチウムが含まれています。爆発を 避けるため、電池を焼却または充電しないでください。

次の行為は絶対にしないでください。

- ・水に投げ込む、あるいは浸す
- ・100°C(華氏 212 度)を超える過熱
- ・修理または分解

交換には、承認部品だけを使用してください。バッテリーのリサイクルおよび 廃棄は、各地域の規制に従ってください。

注意 この部品またはこの装置は重量がありますが、重量は 18 kg より軽量です。

(C008) この部品またはこの装置を持ち上げたり、取り外したり、または取り付けを行う場合は、注意してください。

注意 この部品またはこの装置の重量は、16 から 30 kg です。この部品または この装置を安全に持ち上げるには 2 人が必要です。



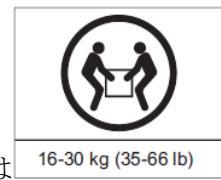
または



>16 kg (35 lb)



>16 kg (35 lb)



16-30 kg (35-66 lb)

注意 この部品またはこの装置の重量は、18 から 32 kg です。この部品または この装置を安全に持ち上げるには 2 人が必要です。



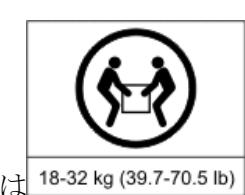
または



>18 kg (39.7 lb)



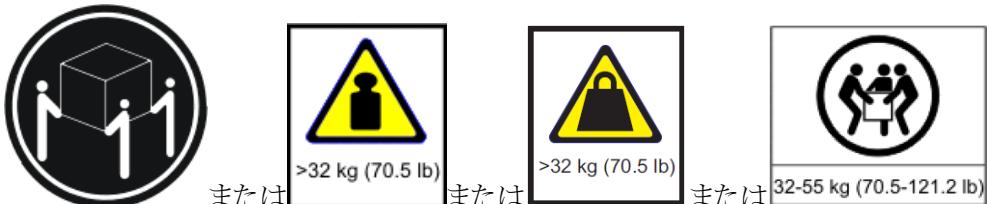
>18 kg (39.7 lb)



18-32 kg (39.7-70.5 lb)

## ⚠ 安全にお取り扱いいただくために (続き)

注意 (C010) この部品またはこの装置の重量は、32 から 55 kg です。この部品またはこの装置を安全に持ち上げるには 3 人が必要です。



注意 (C011) この部品またはこの装置の重量は、55 kg を超えます。この部品または装置を持ち上げるには、特別なトレーニングを受けた担当者またはリフト・デバイス、あるいはその両方が必要です。



注意 (C013) 保守員が保守作業するとき以外は、製品の扉とカバーは、常時閉じておいてください。感電ややけど、または装置の故障の原因となります。  
保守作業が完了したら、すべてのカバーを再取り付けして、扉を閉じる必要があります。

注意 (C014) このシステムには、鉛はんだを含む回路カードまたはアセンブリー(あるいはその両方)が使用されています。  
鉛(Pb)を環境に排出しないため、焼却はしないでください。  
回路カードの廃棄には、各地域の規制に従ってください。

注意 (C017) 付属のリフト・ツールを使用せずに、この装置を取り外したり、取り付けたりしないでください。

注意 (C018) 当製品の電源ケーブルとプラグは、3 線式(2 本の導線と 1 本のアース線)です。  
感電事故を防止するには、正しく接地された電源コンセントに、この電源ケーブルを接続してください。

注意 (C022) 当製品には、装置に直結された電源ケーブルが使用されていることがあります。  
電源への接続は、資格のある電気技術者が各国の電機関連法規に従って実施してください。

注意 (C023) 電源コードを建物の電源に接続する前に、建物の電源回路ブレーカーを必ずオフしてください。

## ⚠ 安全にお取り扱いいただくために（続き）

注意 (C026) 当製品には、CD-ROM ドライブ、DVD-ROM ドライブ、またはクラス 1 レーザー製品のレーザー・モジュールなどのデバイスが 1 つ以上搭載されていることがあります。

次のことに注意してください。

・カバーを外さないこと。

カバーを取り外すと有害なレーザー光を浴びることがあります。

この装置内部には保守が可能な部品はありません。

・本書で指定されている以外の手順を実行したり、指定されていない制御または調節スイッチを使用すると、有害な光線が放射されることがあります。

注意 (C027) このシステムには、データ処理のため、パワー・レベルがクラス 1 を超えるレーザー・モジュールを使用して伝送を行う装置が取り付けられていることがあります。

このため、光ファイバー・ケーブルの端またはケーブルの接続されていないレセプタクルは決してのぞき込まないでください。光ファイバーの導通を検査するのに、切り離された光ファイバーの一方の端の中を光で照らし、もう一方の端を覗き込んでも目を痛めることはありませんが、この作業は危険なことがあります。したがって、光ファイバーの一方の端の中を光で照らし、もう一方の端を見て光ファイバーの導通を検査する方法はお勧めしません。光ファイバー・ケーブルの導通を検査するには、光学式光源および電力メーターを使用してください。

注意 (C028) 当製品には、クラス 1M のレーザーが使用されています。光学 機器を使用して直接見ることはしないでください。

注意 (C029) 当製品には、クラス 2 のレーザーが使用されています。光線を のぞき込まないでください。

注意 (C032) 当製品の保守は、トレーニングを受けた保守担当者だけが実施してください。

装置のカバーの取り外しや部品の取り付け・取り外しは行わないでください。不慣れな作業を行うことにより、怪我または装置の故障の原因となります。

注意 (C035) 発火のリスクを軽減するため、No. 26 AWG またはそれ以上の（たとえば、24 AWG）、UL にリストされた、あるいは CSA 認定済みの通信回線コードのみを使用してください。

注意 (C038) 装置は無人で稼働させることはできません。常に、サービス担当員がプロセスを監視している必要があります。

注意 (C041) ユーザマニュアルや、取扱説明書を参照してください。

注意 (C042) ロックまたは制動装置を有効にするか、固定装置を指示どおりに適用してください。このような安全機能が使用されないと、部品がずれたり落下したりした結果、人や機械にけがや損傷を与える可能性があります。

## ⚠ 安全にお取り扱いいただくために (続き)

- 注意 (C047) 装置の電源制御ボタンあるいはスイッチ(存在する場合)は、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。  
装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。  
装置から完全に電気を取り除くには、装置または給電部からすべての電源コードを切り離してください。



- 注意 (C048) 製品添付のリフト・ツール  
・リフト・ツールの操作は、許可された保守員のみが行ってください。  
・リフト・ツールは、ラックの高い位置での装置(荷物)の補助、引き上げ、取り付け、取り外しに使用するためのものです。これは、装置を装着して大きなスロープを移送するために使用したり、パレット・ジャック、ウォーキー、フォーク・トラックなどの指定ツールや関連の再配置実施の代替として使用したりするためのものではありません。
- 注意 (C049) この装置で使用されているバッテリーにはリチウムが含まれており、取り扱いを誤ると、火災や化学火傷のリスクが生じる可能性があります。分解、摂氏 100 度を超える過熱、燃焼、焼却、または破碎を行わないでください。廃棄またはリサイクルは、各地域の規制に従って、迅速かつ適切に行ってください。
- 注意 (C052) この装置は、子どもがいる可能性の高い場所での使用には適していません。

## ⚠ 安全にお取り扱いいただくために (続き)

### 一般的な安全上の注意事項

- 危険 ラック・システムまたはその周囲で作業する場合は、以下の安全上の注意を遵守してください。  
(R001)
- い。
- パート 1/2
- ・重い機器取り扱いを誤ると怪我をしたり機器に損傷を与えることがあります。
  - ・ラック・キャビネットのレベル・パッドを必ず下げてください。
  - ・地震オプションを取り付ける場合を除き、ラック・キャビネットに、安定板ブラケットを必ず取り付けてください。
  - ・機械の取り付けバランスが偏って危険な状態になるのを防止するため、最も重い装置は、ラック・キャビネットの最下部に取り付けてください。サーバーとオプション装置の取り付けは、必ずラック・キャビネットの下から始めてください。
  - ・ラックに搭載された装置を棚や作業場所の代わりに使用しないでください。ラックに搭載された装置の上に物を載せないでください。また、ラックに搭載された装置に寄りかかったり、体の位置を安定させるためにそれらを使用したり(例えは、はしごから作業する場合)しないでください。



- ・それぞれのラック・キャビネットには、複数の電源コードが付いている場合があります。
- ・AC 電源付きのラックでは、保守作業中に電源を切り離す指示がある場合は、ラック・キャビネット内のすべての電源コードを必ず取り外してください。
- ・ラック・キャビネットに取り付けた装置は、同じラック・キャビネットに取り付けられている電源装置に接続してください。ラック・キャビネットに取り付けられている装置の電源コードは、他のラック・キャビネットに取り付けられている電源装置には接続しないでください。
- ・正しく配線されていない電源コンセントにより、システムまたはシステムに接続している装置の金属部分に、危険な電圧が生じことがあります。感電事故を防止するため、電源コンセントの配線と設置については、お客様の責任で正しい配線を確保してください。

## ⚠ 安全にお取り扱いいただくために (続き)

- 危険 (R001) ラック内の周辺温度が、取り付けられているラック・マウント装置のメーカー推奨温度を超える場合は、ラックに装置を搭載しないでください。
- パート 2/2
- エアー・フローが阻害される場合は、ラック内に装置を取り付けないでください。装置の側面、正面、背面において、エアー・フローが阻害されたり、エアーフローが減少することがないようにしてください。
  - 装置を電源に接続するときには、回路に過負荷が生じた場合に、電源配線や過電流保護装置に悪い影響が出ないように考慮してください。ラックの電源を正しく接続するため、ラック内の各装置に表示されている定格銘板を参照して、電源回路の総合的な電源容量を確認して下さい。
  - ラック安定板ブラケットがラックに取り付けられていない場合は、ドロワーやその他のフィーチャーを引き出したり、取り付けたりしないでください。複数のドロワーを一度に引き出さないでください。複数のドロワーを同時に引き出すと、ラックが不安定になることがあります。



- 危険 (R003) ラックの総重量は、227 Kg 以上です。輸送や移動、移設作業についてはすべて、保守員または、お買い求め先に依頼してください。
- 注意 (R005) ラックは、エンクロージャーとしての使用を意図していませんので、エンクロージャーに必要とされる保護強度は備えていません。
- 注意 (R006) ラック内部にインストールされる機器は、専用のエンクロージャーがあることを前提にしています。
- 注意 (R007) ラックと同じ平面になるまでスタビライザー・ブラケットを締め付けます。
- 注意 (R008) 装置を持ち上げる場合には、安全に持ち上げる方法に従ってください。
- 注意 (R009) ラック・マウント装置を棚としての使用を意図していない場合、ラック・マウント装置の上に物を置かないでください。置いた物がすべり落ちて怪我の原因となります。また、置いた物の荷重によって装置の故障の原因となります。
- 注意 (R009) ラックが、他のラックと結合できるよう設計されている場合は、同じモデルのラック同士のみを結合する必要があります。

## ⚠ 安全にお取り扱いいただくために (続き)

危険 主保護接地(アース):  
(R010)



この記号は、ラックのフレーム上に表示されています。保護接地伝導体は、すべてその点で終端される必要があります。公認または認証された閉ループ・コネクター(リング・ターミナル)を使用して、ボルトまたはスタッドによって止め座金でフレームにしっかりと固定される必要があります。コネクターは、ボルトまたはスタッド、止め座金に適合する適切なサイズである必要があります。使用される導線の定格、およびブレーカーの定格が考慮される必要があります。フレームが、保護接地伝導体に電気的に結合されているのを確実にすることを意図しています。ボルトまたはスタッドに入る端末コネクターおよび止め座金が接触する穴は、金属同士の接触を考慮に入れ、いかなる非導電性材料も排除する必要があります。

保護結合伝導体のすべては、この主保護接地ターミナル、または (R010) で表示された箇所で終端する必要があります。



## 安全にお取り扱いいただくために (続き)

### 注意 電源コードの取り扱い:

- (HT001) 電源コードは付属のものおよびサポートオプションを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、電源コードの銅線が露出、ショートや一部断線で過熱して、感電や火災の原因となります。
- ・物を載せない
  - ・引っ張らない
  - ・押し付けない
  - ・折り曲げない
  - ・ねじらない
  - ・加工しない
  - ・熱器具のそばで使用しない
  - ・加熱しない
  - ・束ねない
  - ・ステップルなどで固定しない
  - ・コードに傷がついた状態で使用しない
  - ・紫外線や強い可視光線を連続して当てない
  - ・アルカリ、酸、油脂、湿気へ接触させない
  - ・機器温度条件以外で使用しない
  - ・定格以上で使用しない
  - ・ほかの装置で使用しない
  - ・電源プラグを持たずにコンセントの抜き差しをしない
  - ・電源プラグを濡れた手で触らない
- なお、電源プラグはすぐに抜けるよう、コンセントの周りには物を置かないでください。

### 注意 タコ足配線:

- (HT002) 同じコンセントに多数の電源プラグを接続するタコ足配線はしないでください。コードやコンセントが過熱し、火災の原因となるとともに、電力使用量オーバーでブレーカが切断し、ほかの機器にも影響を及ぼします。

### 注意 電源プラグの接触不良やトラッキング:

- (HT003) 電源プラグは次のようにしないと、トラッキングの発生や接触不良で過熱し、火災の原因となります。
- ・電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。
  - ・電源プラグはほこりや水滴が付着していないことを確認し、差し込んでください。付着している場合は乾いた布などで拭き取ってから差し込んでください。
  - ・グラグラしないコンセントを使用してください。
  - ・コンセントの工事は、専門知識を持った技術者が行ってください。

### 注意 修理・改造・分解:

- (HT004) 自分で修理や改造・分解をしないでください。感電や火災、やけどの原因となります。特に電源ユニット内部は高電圧部が数多くあり、万一さわると危険です。

### 注意 雷雨時の注意:

- (HT005) 雷雨の間はケーブルの接続や切り離し、または装置の設置、保守、再構成を行わないでください。感電の原因となります。



## 安全にお取り扱いいただくために（続き）

- 注意 梱包用ポリ袋:  
(HT006) 装置の梱包用エーキャップなどのポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かないでください。かぶったりすると窒息するおそれがあります。
- 注意 周辺機器の接続:  
(HT007) 周辺機器を接続するときは、特に指示がない限りすべての電源プラグをコンセントから抜いてください（またはブレーカを切断してください）。感電や装置の故障の原因となります。また、マニュアルの説明にしたがい、マニュアルで使用できることが明記された周辺機器・ケーブル・電源コードを使用してください。それ以外のものを使用すると、接続仕様の違いにより周辺機器や装置の故障、発煙、発火や火災の原因となります。
- 注意 安定した場所で使用:  
(HT008) 安定した場所に置いてください。傾いたところや狭い場所など不安定な場所に置くと落ちたり倒れたりして、けがや装置の故障の原因となります。
- 注意 目的以外の使用:  
(HT009) 踏み台やブックエンドなど、サーバとしての用途以外に装置を利用しないでください。壊れたり倒れたりし、けがや故障の原因となります。
- 注意 信号ケーブル:  
(HT010)
  - ケーブルは足などをひっかけたり、ひっぱったりしないように配線してください。ひっかけたり、ひっぱったりするokeがや接続機器の故障の原因となります。また、データ消失のおそれがあります。
  - ケーブルの上に重量物を載せないでください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接続機器などの故障の原因となります。
- 注意 ラックコンソールの取り扱い:  
(HT011) ラックの前で作業をするときは、ラックコンソールをしまってください。引き出した状態では、立ち上がったときに頭部などをラックコンソールにぶつけてけがをするおそれがあります。
- 注意 金属など端面への接触:  
(HT012) 装置の金属やプラスチックなどの端面に触れる場合は、綿手袋を着用してください。けがをするおそれがあります。綿手袋がない場合は十分注意して触れてください。
- 注意 装置上に物を置く:  
(HT013) 装置の上には周辺機器や物を置かないでください。周辺機器や物がすべり落ちてけがの原因となります。また、置いた物の荷重によっては装置の故障の原因となります。
- 注意 眼精疲労:  
(HT014) ディスプレイを見る環境は 300 ~ 1000 ルクスの明るさにしてください。また、ディスプレイを見続ける作業をするときは 1 時間に 10 分から 15 分程度の休息をとってください。長時間ディスプレイを見続けると眼に疲労が蓄積され、視力の低下を招くおそれがあります。

## ⚠ 安全にお取り扱いいただくために (続き)

### 一般的な安全上の注意事項 (Labels)

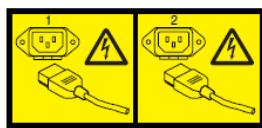
危険 このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。  
(L001) このラベルが貼られている場合は、カバーや仕切りを開けないでください。



危険 ラックに搭載された装置を棚や作業場所の代わりに使用しないでください。  
(L002) ラックに搭載された装置の上にものを載せないでください。  
また、ラックに搭載された装置に寄りかかったり、身体の位置を安定させるためにそれらを使用したり(例えば、はしごから作業する場合)しないでください。



危険 複数の電源コードがあります。この製品は複数の AC 電源コードが装備されていることがあります。危険な電圧のすべてを除去するには、すべての電源コードを切り離してください。  
(L003)



危険 危険な電圧が存在します。  
(L004) 存在する電圧には、重大な怪我または死亡の原因となる感電の危険性があります。



## ⚠ 安全にお取り扱いいただくために (続き)

注意 (L005) 危険な電力が存在します。危険な電力を有する電圧は、金属とショートすると高熱を発し、結果として金属の飛散、火傷あるいはその両方の原因となる場合があります。



注意 (L007) 近くに表面温度が高い部分があります。



注意 (L008) 近くに危険な可動部分があります。



注意 (L009) 重いシステムまたは部品です。このラベルには、該当する重量範囲があらわされています。



注意 (L012) 挟まれる危険があります。



または

注意 (L013) 重い機器 - 取り扱いを誤ると怪我をしたり機器に損傷を与えることがあります。

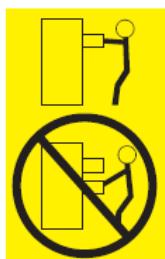


## ⚠ 安全にお取り扱いいただくために (続き)

注意 レーザー開口。  
(L023)



注意 複数のドロワーを一度に引き出さないでください。  
複数のドロワーを同時に引き出すと、ラックが不安定になることがあります。  
(L024)



重要 所定の電圧グループでサポートされる構成および電源コード情報に関する追加の説明については、「導入計画書」を参照してください。  
(L025)



注意 エンクロージャーの保全性  
(L031)  
・アクセス・カバーを空けたままにしないでください。  
・アクセス・カバーは、許可された保守員が手順に従って取り外してください。



## ⚠ 安全にお取り扱いいただくために (続き)

危険 (L033) 同時に引き出すドロワーの数が多すぎると、ラックが不安定になる場合があります。保守のために指示された場合を除き、ドロワーは一度に 1 つのみ引き出します (例えば、保守用に引き出されているプロセッサーのドロワーと、さらに、保守オペレーションに使用されるラックコンソールが 1 つ)。



危険 (LT020) 大漏洩電流  
電源を接続する前に必ず接地してください。接地のない状態で使用すると漏洩電流により感電のおそれがあります。



および/または

危険  
大漏洩電流  
電源を接続する前に必ず接地してください。

警告 (LT021) 倒れて損傷しないように、装置の設置または増設の前に、この位置に傾斜安定板を取り付ける必要があります。



## ⚠ 安全にお取り扱いいただくために（続き）

### 装置の損傷を防ぐための注意

- 通知 装置使用環境の確認:  
(HN005) 装置の使用環境は各製品の環境条件を満足してください。たとえば、温度条件を超える高温状態で使用すると、内部の温度が上昇し装置の故障の原因となります。
- 通知 使用する電源:  
(HN006) 各装置に表示された電圧で使用してください。表示された以外の電圧で使用すると電圧の大きさにしたがって内部が破損したり、過熱・劣化したり装置の故障の原因となります。
- 通知 温度差のある場所への移動:  
(HN007) 移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。結露した状態で使用すると装置の故障の原因となります。すぐに電源を入れたりせず、使用する場所で数時間そのまま放置し、室温と装置内温度がほぼ同じに安定してから使用してください。たとえば、5 °Cの環境から 25 °Cの環境に持ち込む場合、2 時間ほど放置してください。
- 通知 通気孔:  
(HN008) 通気孔は内部の温度上昇を防ぐためのものです。物を置いたり立てかけたりして通気孔をふさがないでください。内部の温度が上昇し、発煙や故障の原因となります。また、通気孔は常にほこりが付着しないよう、定期的に点検し、清掃してください。
- 通知 装置内部への異物の混入:  
(HN009) 装置内部への異物の混入を防ぐため、次のことに注意してください。異物によるショートや異物のたい積による内部温度上昇が生じ、装置の故障の原因となります。
  - 通気孔などから異物を中に入れない
  - 花ビン、植木鉢などの水の入った容器や虫ピン、クリップなどの小さな金属類を装置の上や周辺に置かない
  - 装置のカバーを外した状態で使用しない
- 通知 強い磁気の発生体:  
(HN010) 磁石やスピーカなどの強い磁気を発生するものを近づけないでください。装置の故障の原因となります。
- 通知 落下などによる衝撃:  
(HN011) 落下またはぶつけるなど、過大な衝撃を与えないでください。内部に変形や劣化が生じ、装置の故障の原因となります。
- 通知 接続端子への接触:  
(HN012) コネクタなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしてショートさせないでください。発煙または接触不良の故障の原因となります。

## ⚠ 安全にお取り扱いいただくために (続き)

- 通知 煙霧状の液体:  
(HN013) 煙霧状の殺虫剤などを使用するときは、事前にビニールシートなどで装置を完全に包んでください。装置内部に入り込むと故障の原因となります。また、このとき装置の電源は切ってください。
- 通知 サポート製品の使用:  
(HN014) 流通商品のハードウェア・ソフトウェアを使用された場合、装置が正常に動作しなくなったり故障したりすることがあります。この場合の修理対応は有償となります。装置の安定稼働のためにも、サポートしている製品を使用してください。
- 通知 バックアップ:  
(HN015) ハードディスク装置のデータなどの重要な内容は、補助記憶装置にバックアップを取ってください。ハードディスク装置が壊れると、データなどがすべてなくなってしまいます。
- 通知 ディスクアレイを構成するハードディスクの複数台障害:  
(HN016) リビルドによるデータの復旧、およびリビルド後のデータの正常性を保証することはできません。リビルドを行ってディスクアレイ構成の復旧に成功したように見えても、リビルド作業中に読みなかったファイルは復旧できません。障害に備え、必要なデータはバックアップをお取りください。なお、リビルドによるデータ復旧が失敗した場合のリストアについては、お客様ご自身で行っていただく必要があります。(リビルドによる復旧を試みる分、復旧に時間がかかります。)
- 通知 装置の設置の向き:  
(HN017) 装置は正しく設置した状態で使用してください。縦向きに設置したり、上下を逆に設置したりしないでください。装置が正常に動作しなかったり、故障したりする原因となります。
- 通知 クリーニング:  
(HN018) 装置のクリーニングは、電源を切り、電源コードを抜いた状態で行ってください。装置の故障の原因となります。
- 通知 有寿命部品について:  
(HN019) 有寿命部品は寿命以内で使用してください。寿命を超えて使用すると装置の故障の原因となります。
- 通知 消耗品について  
(HN020) データメディアやクリーニングメディアなどの消耗品は指定されたものを使用してください。指定以外のものを使用すると製品の信頼性を低下させるだけでなく、故障の原因となります。
- 通知 CD/DVD ドライブの取り扱い:  
(HN021) 次のことについて取り扱ってください。ドライブの故障の原因となります。
  - ・ビジーインジケータの点灯中に電源を切らない
  - ・トレイをむりに開閉しない
  - ・損傷または変形したディスクをドライブに入れないと
  - ・異物をトレイに入れないと
  - ・手動イジェクト穴はドライブが壊れたとき以外使用しない

## ⚠ 安全にお取り扱いいただくために (続き)

### 非常時の処置

#### 感電事故発生の場合

- あわてないこと。感電した人に触れて第2の被害者にならないようにしてください。  
まず被害者への電流源を遮断してください。非常用の電源切断スイッチ、またはそれが無い場合は常用の電源スイッチを切断してください。  
これができない場合は、乾いた木の棒など非導電性のものを使って、被害者を電流源から引き離してください。
- 救急車を呼んでください。
- 被害者が意識不明の場合は、人工呼吸をしてください。  
このような場合に備えて、人工呼吸のやり方を前もって練習しておいてください。  
被害者の心臓が停止している場合は、心臓マッサージを行う必要がありますが、この処置は訓練を受け、資格のある人以外は行ってはいけません。

#### 火災発生の場合

- まず装置への電源を遮断してください。非常用の電源切断スイッチ、またはそれが無い場合は常用の電源スイッチを切断してください。
- 電源を遮断しても火災が収まらない場合は、状況に応じ、消火作業や消防署への電話等をしてください。

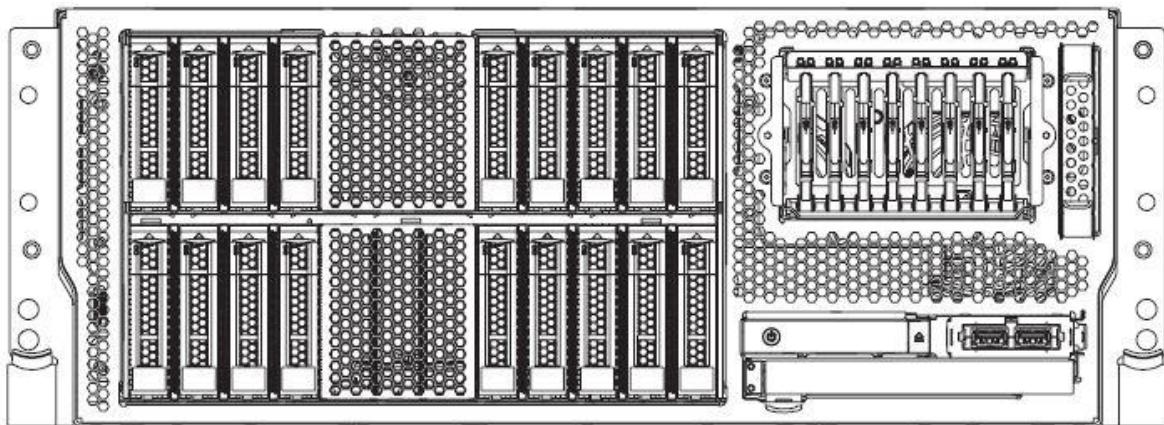
## ⚠ 安全にお取り扱いいただくために (続き)

### 警告ラベルの貼付位置

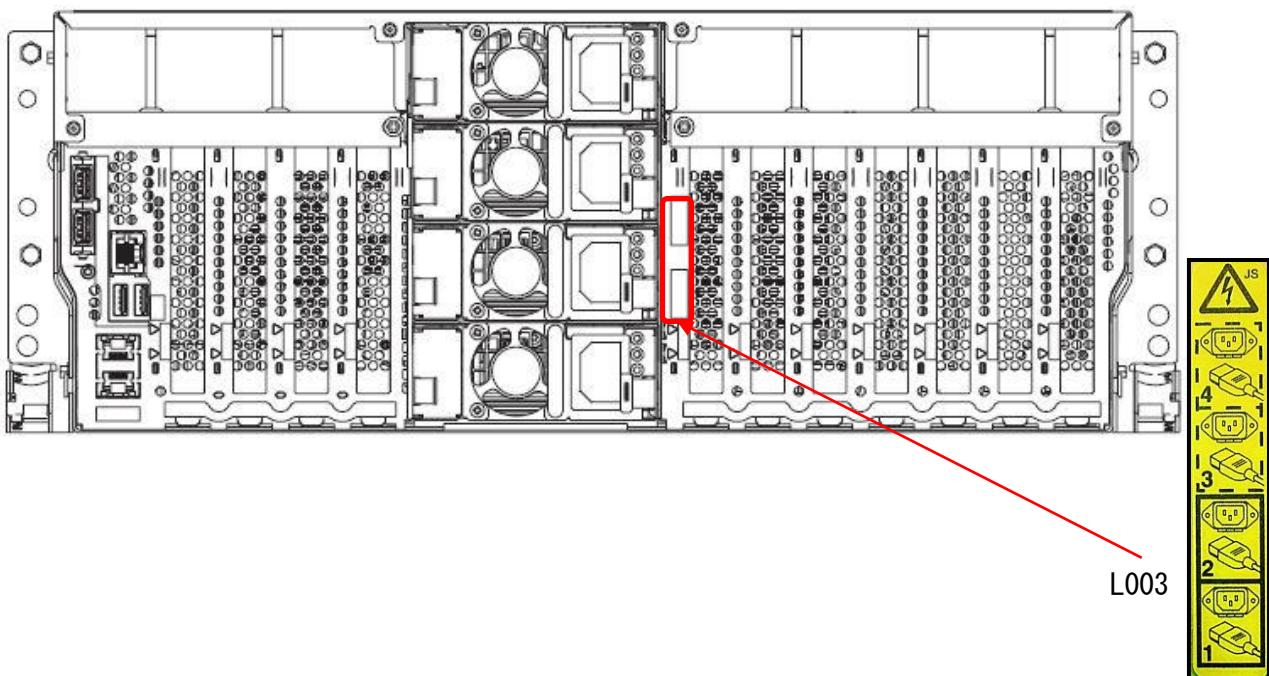
警告ラベルおよび貼付位置を以下に示します。

#### 1. EP8000 S814/S824

(1) 装置正面(ラックマウント型)

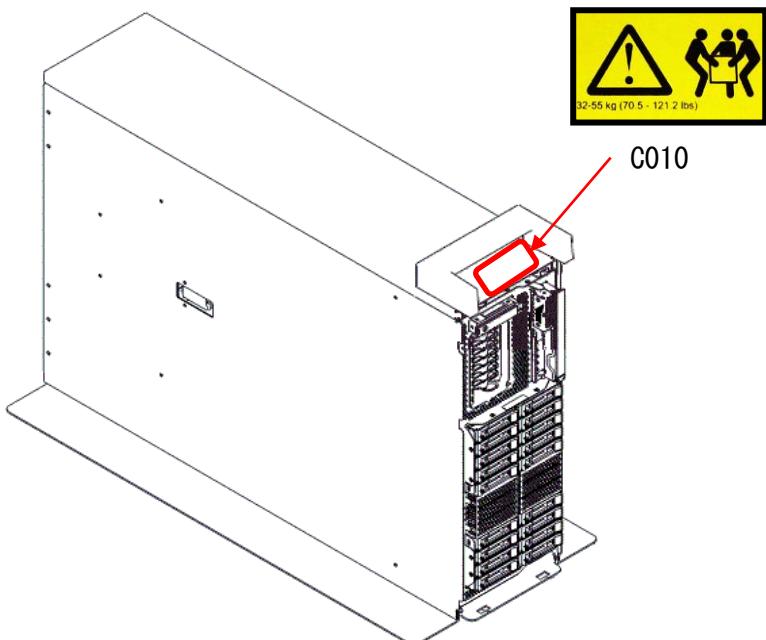


(2) 装置背面(ラックマウント型)

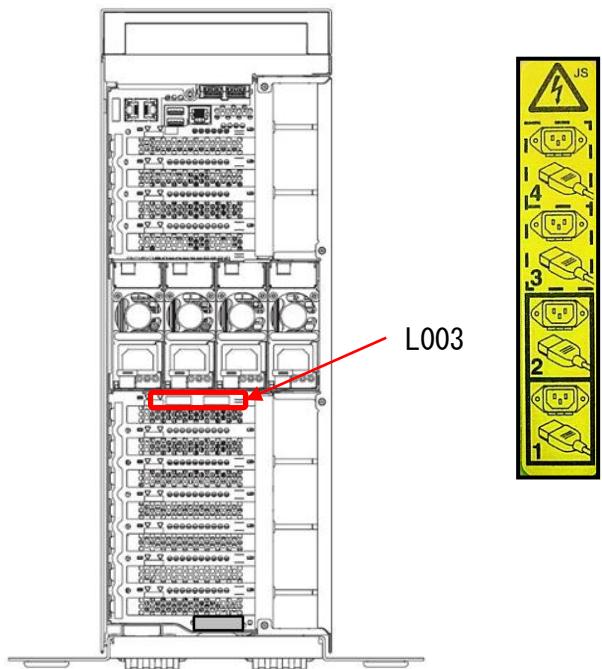


**⚠ 安全にお取り扱いいただくために (続き)**

(3) 装置正面(タワー型)



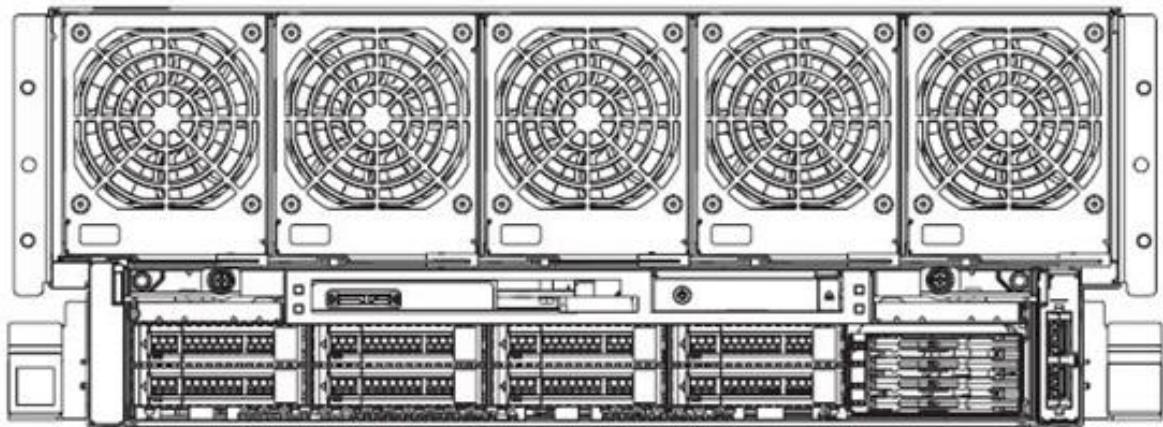
(4) 装置背面 (タワー型)



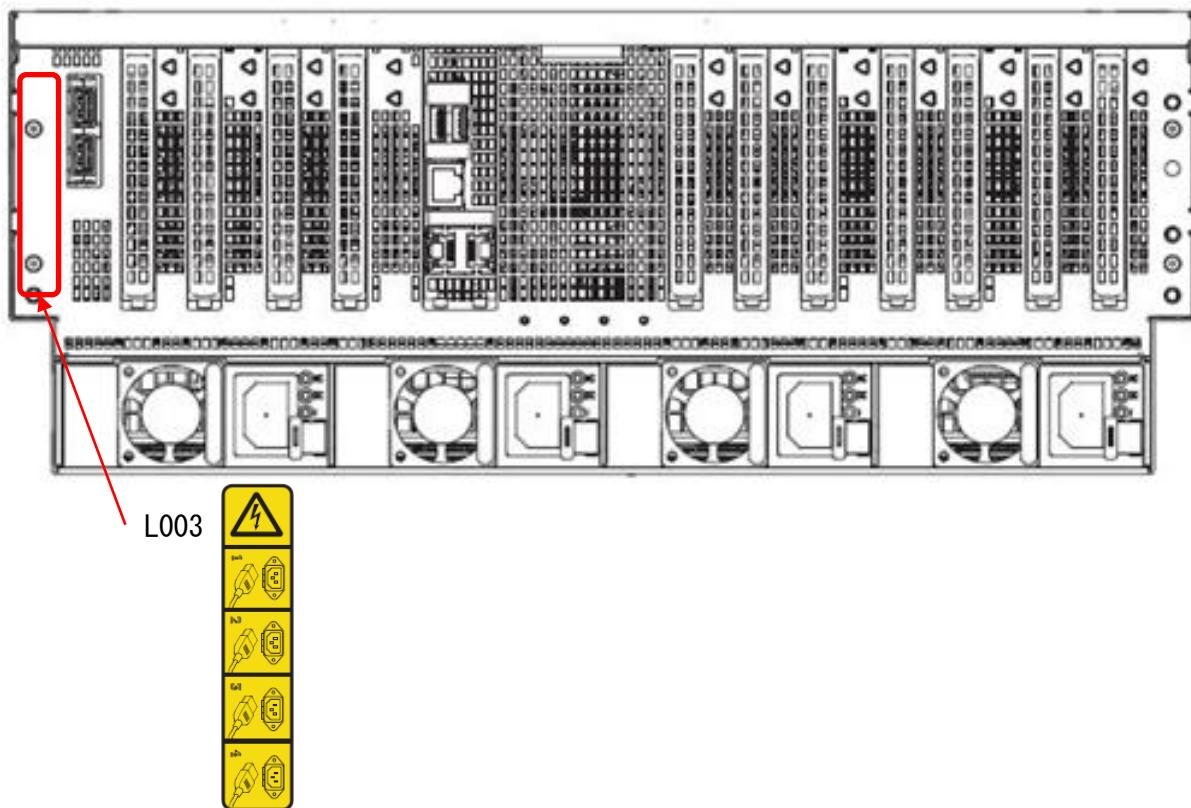
**⚠ 安全にお取り扱いいただくために (続き)**

2. EP8000 E850

(1) 装置正面



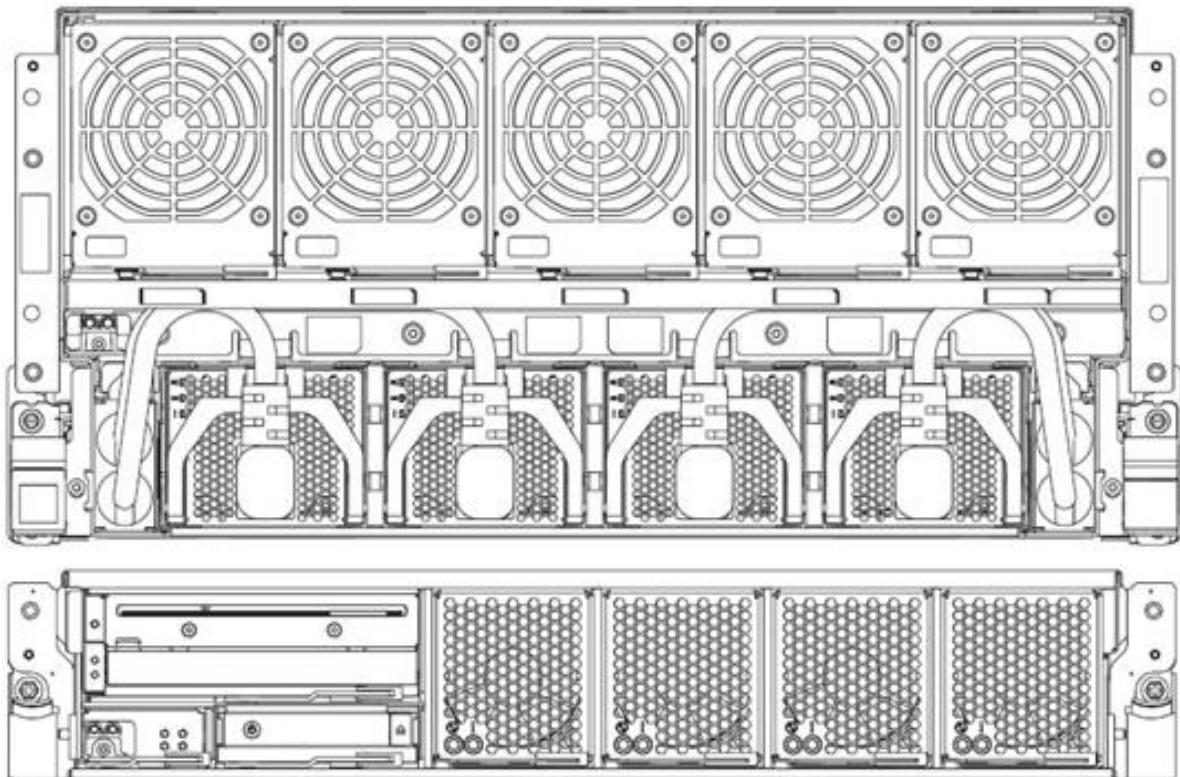
(2) 装置背面



**⚠ 安全にお取り扱いいただくために (続き)**

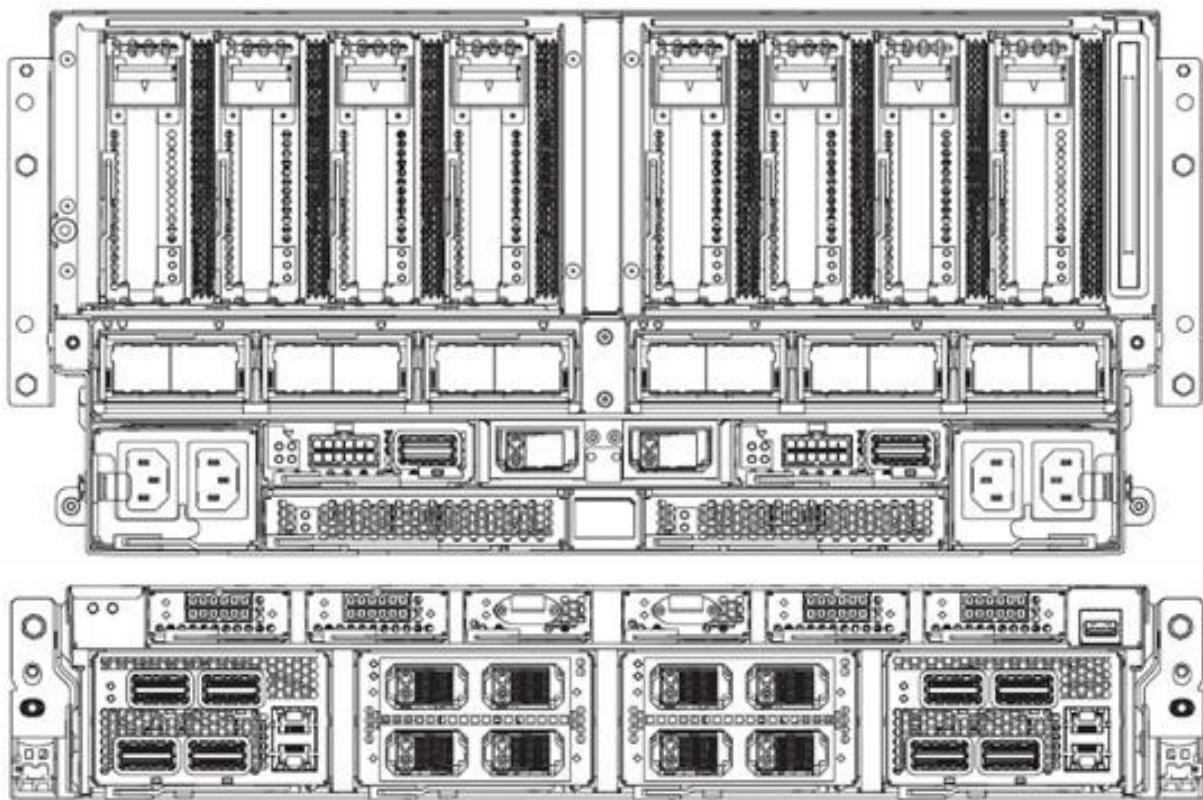
3. EP8000 E870/E880

(1) 装置正面



**⚠ 安全にお取り扱いいただくために (続き)**

(2) 装置背面

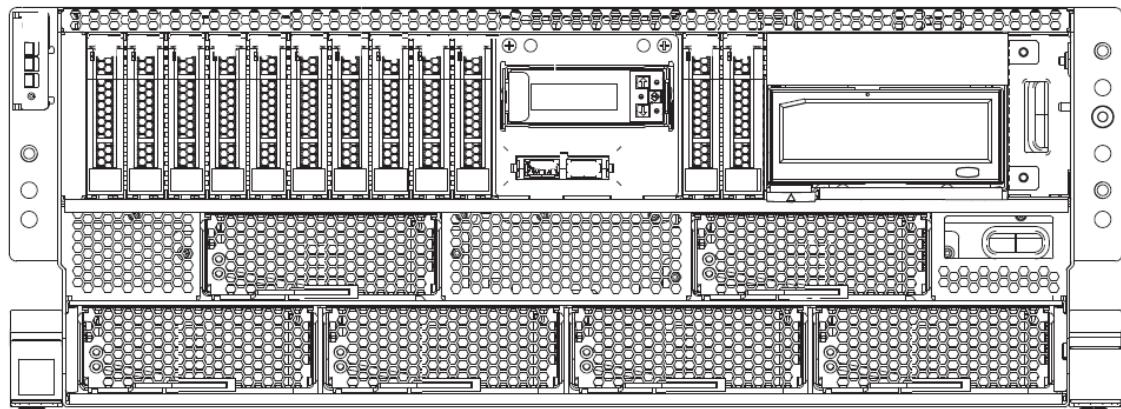


**⚠ 安全にお取り扱いいただくために (続き)**

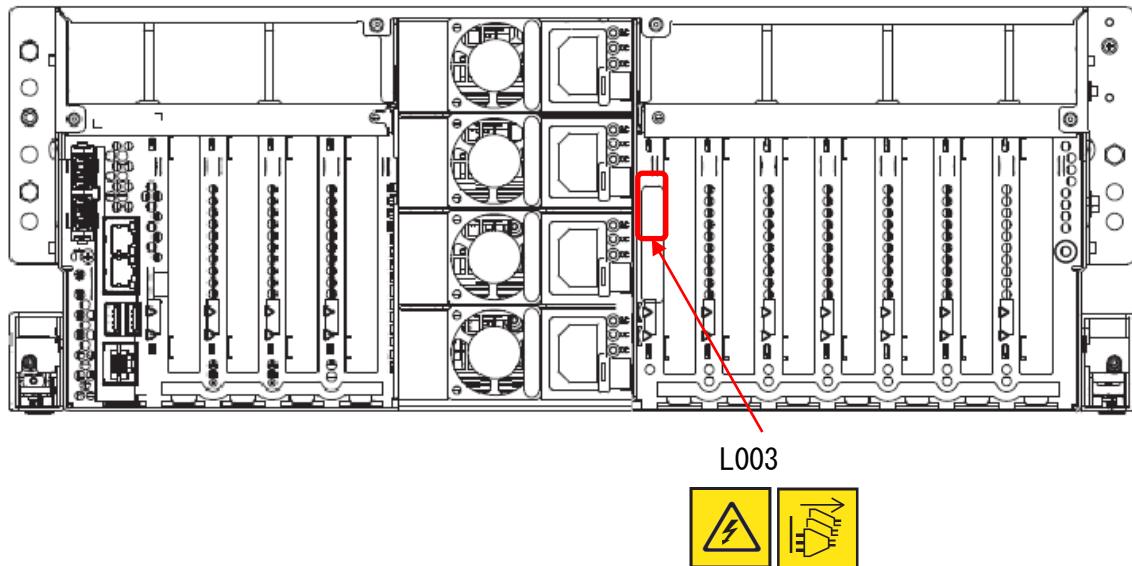
#### 4. EP8000 S914/S924

警告ラベルの貼り付け位置は「ラックマウント型」「タワー型」共通です。

##### (1) 装置正面



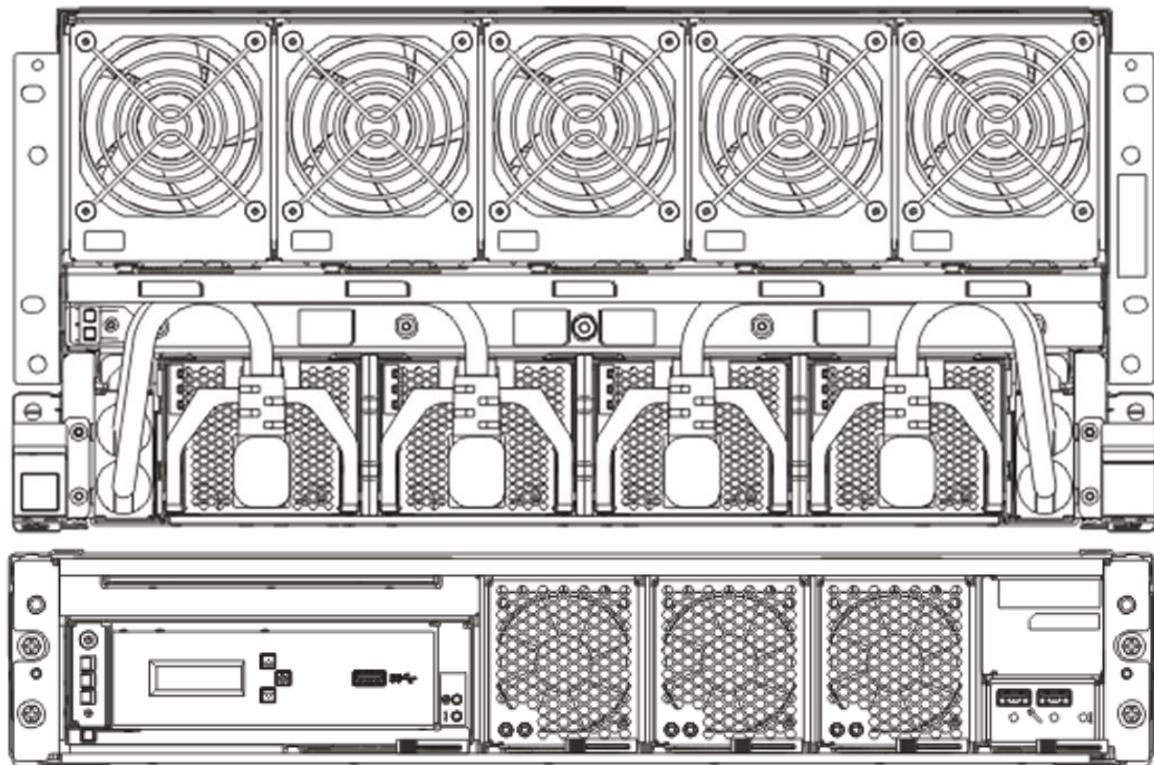
##### (2) 装置背面



**⚠ 安全にお取り扱いいただくために (続き)**

5. EP8000 E980

(1) 装置正面



⚠ 安全にお取り扱いいただくために (続き)

(2) 装置背面

